

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第41号

2010年2月12日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo

au/ソフトバンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



旗開きに 33名参加!

1/22の旗開きは、松本静児新議長の、事実上の初仕事となりました。原稿を用意して挨拶に望んだ議長は、少し緊張した面持ちでしたが、大きな拍手に支えられて、嬉しそうでした。すっかりお馴染みとなったツリーアイズの演奏は、メンバーも増えて音が重厚となり、パワーアップしました。来賓挨拶は、神奈川労連副議長の竹山氏、電力会館の松井氏、日本共産党横須賀市議団のねぎしかずこ議員からいただき、また、平和委員会と「はたの君枝」参議院予定候補からメッセージが届きました。加盟単組の決意表明では、議長の出身単組である三浦市職労が、委員長を先頭に多数参加され、会場を盛り上げました。



そして一番盛り上がったのは、鈴村氏のアコーディオン演奏でした。鈴村氏が「今日、年金者組合に加盟した」と宣言すると、会場は大きな拍手に包まれました。また閉会の際には、吉富書記次長が「鈴村先生の指導を受けた事がある」と告げ、これまた大きな拍手を呼び、続く「ガンバロウ!」の大合唱は、最高に盛り上がりました。尚、鈴村氏は、三浦地区労の旗開きでも演奏されました。

メンテナンス実施 通告は一ヶ月後!

米第7艦隊は、原子力空母ジョージ・ワシントンの定期整備を実施していることを、8日になって、ようやくホームページに掲載しました。放射性廃棄物の排出を伴う整備にもかかわらず、一般市民が知ることができたのは、整備が始まって1ヶ月もたってからです。

一方、原子力空母ニミッツは、アフガニスタン軍事作戦を1月末に終え、クアラルンプールに7日に入港しています(同日の第7艦隊のニュース)。アジア大洋州を作戦行動地域とするニミッツが、インド洋から太平洋に入る直前までジョージ・ワシントンの整備実施を公にしなかったこと自体が、日本国民の安全よりも太平洋地域での軍事行動と空母の影響力誇示を優先する米軍の姿勢を示しています。

三浦市土地開発公社解散・清算へ

三浦市は、破綻状態となっている同市土地開発公社を解散・清算する方針です。いわゆる塩漬けの土地などの清算で、税金が投入される見込みです。

三浦市立病院の問題で、副市長は、「市の赤字は、二町谷の埋立によるものが大きい」と言っていますが、二町谷の埋立は91億もかけて、一区画も売れず、マグロ運搬船も入港したことはありません。しかも公示価格や路線価格をもとに試算したところ、二町谷の埋立地は売れても60億にしかありません。